

小学生も考える

今年度から市では、札幌らしい特色ある学校教育の一つとして「雪」が学校の授業の題材となりました。

そこで、緑丘小学校4年3組では「安全なくらしとまちづくり」札幌市の除雪は世界一!?と題した社会科の授業を行いました。

学習の前半では、区土木部による出前講座（写真参照）も行われ、世界に誇れる市の除雪・排雪システムを調べたり、除雪作業を担当する除雪センター職員の話の聞いたりして、除雪・排雪の大切さ、

後半は、学校のグラウンドに通学路の雪を排雪する事例から、雪の問題を解決するためには、自分たちも協力していく必要があるということを考えました。

苦労や工夫について学びました。

後半は、学校のグラウンドに通学路の雪を排雪する事例から、雪の問題を解決するためには、自分たちも協力していく必要があるということを考えました。



担任の先生に聞きました

実際に授業を行った担任の佐野先生にお話をお聞きしました。

先生は平成17年から独自に札幌市の除雪を授業に取り入れてきており、市の雪対策に造詣が深い方です。

「道内の社会科教諭の中でも長年『雪や寒さは宝』という考え方がありました。除雪距離や排雪量など札幌の除雪は世界一ですが、問題点も多く抱えています。良い点・悪い点の両方を知ること、将来、地域に参画していく芽を育てていくことができればと思います」とこの授業が持つ意味合いを語ってくださいました。



緑丘小学校4年3組
のひろし
佐野 浩志 教諭

守ろう雪ルール！

ひとたび雪が降ると、除雪作業を行う距離は市内で5千200メートルにも及びます。

これだけの距離を限られた時間と財源で、より効率的に除雪作業を行うには、市民の皆さんの協力が不可欠です。

○敷地の雪を道路に出さない
○路上駐車をしない

○除雪後、間口に置かれる雪の処理は各家庭で行う

一人ひとりがこれらを行うことで、将来にわたって除雪・排雪体制を安定的に維持することが出来ます。

◆◆◆
雪によってもたらされる白銀の世界は、札幌の魅力のひとつです。

アイデアを出し合い、快適に雪と付き合う方法を一緒に考えてみませんか。

○問い合わせ○

中央区土木部

維持管理課

☎ (614) 5800

冬のまちづくり活動

区内では、連合町内会主催の雪中運動会や積雪時を想定した防災訓練、砂まき活動による地域貢献などさまざまな活動が行われています。

また、ホームページ「札幌市の雪対策」では、市内の冬におけるまちづくり活動を紹介しています。

URL <http://www.city.sapporo.jp/kensetsu/yuki/machilink/>

▼雪の上で、バケツリレー

冬の震災体験

毎年、厳冬期の大規模災害に備え、各地区持ち回りで中央消防署の協力のもと行われています。今年は1月18日に円山地区で行われました。



雪と遊ぶ

雪中運動会や親子で参加する雪遊び、チューブ滑りなど、区や地域の主催によるさまざまな行事が開催されています。

▼山鼻地区親子雪遊び大会

▼荒井山チューブソリ大会



砂まき活動

アダプト・プログラムにより環境美化活動を行う団体の中には、冬期間は砂まき活動を行うところがあります。1月5日には大通高校の生徒が学校周辺の砂まき活動を行いました（区民のページ「ちゅうおう」1ページ参照）。